【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-508582(P2008-508582A)
【公表日】平成20年3月21日(2008.3.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-011
【出願番号】特願2007-523052(P2007-523052)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　9/54　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　9/46　４８０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月29日(2008.10.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
それぞれが各タイムスタンプを有するイベント・トランザクションをスケジューリングするための、所定のイベント規則を有するイベント駆動アプリケーションにおいて使用される方法であって、
前記所定のイベント規則に従ってイベント間の予想時間依存性を解消するステップと、
前記イベント・トランザクションが処理されるであろう時を判断するステップとを含み、それによって、前記イベント・トランザクションを並列処理のために分散型プロセッサへディスパッチするステップであって、
前記イベント・トランザクションが処理されるであろう時を判断するステップは、
登録されたイベントのリストを維持するように各入力イベントを登録するステップと、
各登録されたイベントについて、前記所定のイベント規則に従って、登録されたイベント間の予想時間依存性を、まだ検出されていないマーク付けされた状況と共に解消するステップと、
すべての依存性が解消された各イベント・トランザクションをイベント処理部へディスパッチするステップと、
前記イベント・トランザクションの処理結果を受信するステップと、
前記イベント・トランザクションをコミットすべきかまたは中止すべきかを判断するステップと、
前記イベント・トランザクションを中止すべきである場合には、前記イベント・トランザクションを中止して、再び処理部へディスパッチするステップとを含み、
前記各入力イベントを登録するステップは、
イベントを受信するステップと、
タイムスタンプを前記イベントに割り当てるステップと、
前記受信されたイベントによってトリガ可能なすべての状況を所定の規則を使用して判断するステップと、
前記受信されたイベントと、それによってトリガ可能なすべての状況とをイベント並列テーブル内の適切な欄に追加するステップと、
前記受信されたイベントによって生じたトランザクションを前記受信されたイベン

トのために開始できるかを前記所定の規則に従って判断するステップと、
　　前記トランザクションを前記受信されたイベントのために開始できない場合には、前記トランザクションが開始できるまで待機するステップと、
　　前記トランザクションを開始できる場合には、前記イベントをイベント処理部へディスパッチするステップと、
　　トランザクション処理結果を前記イベント処理部から受信するステップと、
　　前記トランザクションを前記受信されたイベントに対してコミットできるかを前記所定の規則に従って判断するステップと、
　　前記トランザクションを前記受信されたイベントに対してコミットできない場合には、前記処理結果を廃棄して前記トランザクションを再開するステップと、
　　前記トランザクションを前記受信されたイベントに対してコミットできる場合には、前記イベント並列テーブルを更新して、前記トランザクションをコミットするステップとを含む、
方法。